山ゆり

7-8月号 No368 2015年7月1日

初号発行: 1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会(尾瀬の自然を守る山ゆりの会)年会費1000円(郵便口座00230-2-42601)〒246-0025横浜市瀬谷区阿久和西2-25-16 草野正昭Tel/Fax:045-364-6515 メール:VZM03024@nifty.comURL: http://yamayuri.d.dooo.jp/

4月山行 4/17 石砂山

- ·稲本 小野寺 和田 河又 曾根 長谷川 松田 西村 細谷 草野 (11名)
- ■昨年 12 月に長兄を亡くしてから、12・1 月と休み、2 月の多摩自然歩道も途中でリタイヤし、3 月はお彼岸墓参で、今回が5か月振りの山歩き。石砂山はギフ蝶の生育地として知られる。しかし、当日は日本海に低気圧が発達して、南南西の強風で雨模様、ギフ蝶は諦める。

藤野から予約していたタクシー3台で 篠原の登山口に、この道は東海自然歩道 の一区間で、直ぐにギフ蝶の説明板があ る。登り始めにミツバツツジのピンク色 とか山桜の花に見送られ登る。決して高 い山(578m)ではないが、途中までは雑 木林をジグザグにさほどきつくはないが、 山頂に近ずくと、丸太の階段の急登がか なり先が見えないほど続く。皆に遅れて 何とか山頂に着く。強風が激しく集合写 真を撮影して下山する。山頂からすごく 急峻な降りが続き、伏馬田城跡の指道標 を見て、そこを目指すが急登がかなり続 く。城跡まで先で天気も良くないので引 き返す。やや平らな雑木林の中で昼飯を とる。食後は早々に菅井に向って下山。 ようやく菅井の舗装道路に出る。「菅井 花街道」とある道を進むと、スミレや桜 の花など、そしてピンクと白の花弁が混 在する不思議な枝垂れ桜がきれいなこと。

やまなみ温泉へは途中、空のワゴンタクシーが通りかかり、11 人全員が乗り込む。あっという間にやまなみ温泉に到着。このタクシーはバスの廃止に伴って運行されている域内限定の予約制のタクシー



で、たまたま運転手に声をかけられて乗ることが出来た。藤野行きのバスは 1 時間 15 分程あとなので、ゆっくり温泉に入って帰宅する事が出来ました。

今回はなんとか登れましましたが、今 後は歳相応のウォーキングにランク下げ ていくようです。 (田村 清)

5月特別山行 岩櫃山と十二ヶ岳 参加者:草野 松田 細谷 稲本 遠藤 大野 加藤 長谷川 和田 (9名)

■初めてショートステイ利用しての、お 泊り山行。介護生活初級編に属する者と しては、ちょっと気がかりな・・・でも、 日帰りの何倍もリフレッシュできました。

1日目は足慣らしと誰もが思っていたのですが(行程表作成者の罠か!?)トンデモナイ?岩櫃山の名のとおり、岩だらけのバリエーションに富んだ「アトラクション?」と言いたくなるようなお山。そして9合目にたどり着いた我々の目に飛び込んできたのは、クサリとハシゴ。頂上にはためく三角の旗が、アッカンベーしているような・・・無念です。

本日のお宿は小野上温泉。草津や四万 に隠れたマイナー温泉とは言え、お肌ツ ルツルの穴場ですよ。

5/1:岩櫃城址

さて、お待ちかねの十二ヶ岳。「登山 口まで送迎付」に慣れてしまったグータ ラな私ですが、今回は交渉決裂でトボト ボ歩きました。でも、有り難いことに不 要な荷物は宿でお留守番。

このところ、庭の雑草に癒されている 私です。山々の緑色のグラデーションに うっとりし、小さな花々を愛おしく思い、 登山道で日向ぼっこしているカモシカに 焦り・・とにかく「山」を堪能できま した。ところで、くまさんに出会ったら 死んだふりをすればいいけれど?カモシ カ君の場合はどうすりゃいいの!?

締めは、もちろん温泉とビールですよねえ。この至福の時間のために汗をかいたのかな?尽きないお喋りで今回も無事終了しました。 (加藤英子)

■5月1日、湘南上野ラインで高崎へ。 私は川崎駅 8 時 20 分乗車です。ホーム に指定された時刻の表示がない!プリン トを出し確認。やはり 8 時 20 分川崎と …。現在時刻を確認すると 7 時過ぎです。 私 1 時間早く間違えて家を出てしまった のです!予定の電車が来るま 1 時間がと ても長く、車内で皆を確認してホッとし ました。吾妻線、群馬原町下車。大河ド ラマ「真田丸」効果で駅前は六文銭の旗

がたなびいていましたが、連休中にも関わらず閑散としていた。

岩櫃山へ、足元の至る所にス ミレの花、ヒトリシズカ、フタ リシズカも山吹の黄色も良いア クセントです。「真田道」ここ もドラマ効果で真新しい道標だ らけ。一休みした岩櫃神社から 岩櫃城の要塞であっただろう大 きく頑丈な岩も見えます。観光 客が歩かない沢沿いの道へ。ゴ ツゴツとした岩肌を仰ぎ見なが ら、ハシゴありロープありで少し緊張しながら頂へ。山頂?!はまだ先、尖った岩で 5、6 人でいっぱいです! 山ゆりアタック隊男性 3 人、女性代表和田さんが登頂成功。

下山後、群馬原町駅から小野上温泉へ。 「美人の湯」とのうたい文句通り、宿の 湯は入ったとたんに肌がツルツル、とて も良い温泉です。夕食は旬の物満載で大 満足。

翌2日は十二ヶ岳登山口目指し約2時間の林道歩き。登山道はかなりきつい登りの連続でしたが山頂へ。数人の先着者あり。その中のひとりのオジサマが私たちが横浜の方から来たと知り、以前横浜で仕事をしていたと懐かしそうに話し出し、袋いっぱいにあった採れたてのタラ

の芽を、みんなに分けてくれました。

下山は男坂から女坂へと変更し 下山。先頭を歩く和田さんから 「エーッ」と声が!?行くてをよく 見ると「ニホンカモシカ」がうず くまって微動だにしていません。 怪我でもしているのかと恐る恐る 近づいても動かず、間近で見れて 感激です。暫くすると立ち上がり 岩場の斜面へと移動。男坂を下っ ていたら遭遇していなかった出 い。思い出残る山旅でした。

(稲本なお子)

■5月連休の一泊山行は、JRを利用し 渋川からの吾妻線沿線の岩櫃山(いわび つやま 802M)と十二ケ岳に。大河ドラ マ真田丸の所縁の岩櫃城址は観光客で賑 っていたが、山城の一番奥にある岩櫃山 を目指す登山客は多くはなかった。頂上 に近付くにつれ、大きな岩や壁の間の登 山路となり、守りに強い堅固な城であっ たろうと想像された。砲弾の先のような独特な形で 20M程突き出た頂上は、2 本の鎖を頼って垂直に上下するしかなく、狭い頂上の裏側は鋭く切り立っていて、柵越しに覗くのも怖かった。

翌日登った十二ケ岳では、地元のおじさんが折角集めてきた袋一杯の大量の山菜、たらの芽を全部プレゼントしてくれて、9名全員たっぷりの貴重品の分け前で、にこにこ顔で何度もお礼した。

下山の途中、天然記念物の若くて綺麗 な毛並みのニホンカモシカが路に座って いて、道を譲ってもらうという珍事にも。

帰った翌日、岩櫃山で滑落事故があり 県警へリが出動したと、翌週末にも滑落 死亡事故があったと、報道されていた。

(松田雄二)



5月山行 5/15 長者が岳、天子が 岳一白糸の滝 バスハイク

参加者:草野 松田 細谷 西村 田村 稲本 遠藤 大野 小野寺 加藤 河又 小島 長谷川 和田 浜田 浜田(16名)

■今年に入って4か月ぶりに山に行きました。幸いこの日はお天気よし、久しぶりのせいか、お疲れ度が増え、ふくらはぎがパンパンに張ったり・・・・

スタート地点から歩き始めが、急坂で苦 しかったが前から2番目と言われたので がんばれました。

5月の山は若緑の葉、涼しい森林の歩きで凄く楽しかった。昼食をしながら一息ボーとしている所が好きでした。下る荒い道で膝を少し痛めたたけど和田さんに助けられました。ありがとうございました。 (遠藤ふみ子)

■天子山塊は名だたる富士山の景勝地、 と聞いていたので、今回の計画を知るや、 即申し込みをしました。「感想は?」と聞 かれれば、「う~ん、ビミョー」といっ たところです。と言うのも、山を歩いて いる間中ずっと富士山はついて回る、と 勝手に思い込んでいた私は、あまりに展望がきかないことにびっくりしました。 しかし半年ぶり?の晴天のもと、眼下に 広がる可愛らしい田貫湖と、たまに臨め る富士山の秀麗な姿は、評判通りの素晴 らしいものでした。また行ってみたいと ころです。

温泉も、分刻みだったけれど入ってよかった~。何たって「山には行ってみるもんだ」、と再認識したところです。

(小野寺美智子)

■7月:7月10日(日) 忍城址一さきたま古墳群一古代はすの里 W NHK 真田丸に登場、石田三成の水攻めに耐えた忍城、金の象嵌の鉄剣で有名な稲荷山古墳、古代はすの里など見どころ沢山の行田市内のウォーキング。

•集合: JR 行田駅 朝9時30分

横浜 7:42 発(品川 8:00)-JR 湘南上野ライン-9:18JR 行田 湘南新宿ライン→横浜 7:34 発-武蔵小杉 7:46-渋谷 8:02 (浦和または大宮乗換) (注) 7:34 湘南新宿ラインは宇都宮行きのため途中で乗り換え。(各自確認要)

■8月:お休みです

■ 9月:9/16 (8月号で)

■特別企画:紅葉の尾瀬・裏煫ー尾瀬ヶ原:9/29(木)~9/30(金) 詳細別途案内

7月10日は参議院選挙の投票日です。憲法改正を許さないとても重要な選挙です。期日前投票を済ませて参加してください。

■例会の予定

7月19日(火):7月例会8月23日(火):8月例会

あとがき ・消費増税延期にごまかされない!増税中止でも減税でもないのだ。増税しないと社会保障に支障をきたすというが6兆円の公共事業費や5兆円を超える防衛費は何も問題ないのだろうか。・いよいよ参議院選挙、アベノミクスによる貧困格差の増大、憲法違反の戦争法の強行、日本破壊のTPPの推進、沖縄の辺野古基地強行、そしてなんといっても憲法改正。選挙中、与党は憲法に

触れないとか、争点は間違いなく憲法改正だ。 もし与党に多数の議席を与えたら真っ先に憲 法改正に走るだろう。・都知事辞任報道に ごまかされない!甘利前大臣の金銭授受の疑 惑を忘れない!不起訴でも疑惑は全くはれて いない。ともに政治と金、これも選挙の重要 な争点だ。クリーンな候補者を選ぼう。

- ・「アベ政治を許さない」トラック島で多くの兵士や徴用工の死を見てきた俳人金子兜太96歳に共感。
- 「美しい日本」などと毛虫を踏みつけり (6/15 K)

非正規採用が増え、正規採用が減り、大企業 が潤えばその恩恵が中小企業や勤労世帯に滴 り落ちるというトリクルダウンは未だ無し、 倒産は減ったと言うが、倒産する前に社員に 出せるものは出しての廃業が増えているのが 実態。

■5月山行 天子山塊 長

者ケ岳と天子ケ岳 松田 雄二

天子山塊(てんしさんかい)、随分前に雑誌で紹介されたこのコースのコピーが取ってあった。

富士山の西側で、アクセスの不便なこの地区に横浜からバスで行ける有難い山行でした。

登山口の田貫湖畔はオートキャンプ場やテントサイトも有って、ミニ観光地の雰囲気の 賑わい。

1336Mの長者ケ岳までの標高差は約700M。 登山路は東海自然歩道になっているので、整備されているが、木の階段が続き急な上りです。案内板には150分となっていたが、130分で頂上に。幾組かのパーテーが昼食中。真正面に大きな富士山が大迫力で雪の少なくなった姿で迫っている。春霞のため、クッキリでなく残念。この山名は、この眺めが長者の気分にさせるからか?

シロヤシオ (五葉つつじ) の大きな樹の下に 食事の場所を確保。

今日 2 つ目のピーク天子ケ岳 1330Mまでの 40 分の道程は、満開のシロヤシオのトンネルも有り、充分に楽しめた。下山路は、かなりの急坂で岩も多く、慎重に、慎重に!

最後に有名な白糸の滝まで歩き、温泉で 汗を流し、帰途に。朝はスイスイだったが、 帰りは案の定

週末の大渋滞 30Kに。ドライバーの流石の

読みと巧みなハンドルさばきで、何とか切り 抜けゴールイン。

参加者 16 名の顔触れから、今後のバス山 行は平日でも良いのでは?なんて思っていま す。

■ 1 泊山行

あの真田幸村がテレビ放映されている旬の この時期に岩櫃山に行けるなんてなんと企画 の良いこと。横浜からの足も気楽でしたし小 野上温泉宿も心地良かったし温泉もまた良か った。

岩櫃山は大きな岩石の間を縫うようにルートがあり、頂上まで随所につつじが咲いている。最後の頂上は大きな垂直に見える岩場で鎖が頼り、下りはさらに大変で鎖を頼りに降るも、体が宙に浮いて一瞬怖さが出ました。 人しぶりの岩と鎖を頼りの登り下りで腕の筋肉が痛くなりました。その分山頂からの絶景を見ていい気持でした。

2日目は12ヶ岳、車道をまだかまだかという登り、駐車場とトイレのある登山口まで 1時間位は歩いたでしょうか。 もう汗びっしょりです。そこから山道までの道は、途中、足の筋が伸びるきつい傾斜もあり、ヒトリシズカの群落のあるなだらかな尾根もありで結構快適。

山頂は広いなだらかな場所で、先行の登山 者が何人か休憩中。単独で休んでいた一人の おじさんが下げていた袋になにやら、「タラ の芽ですよね、沢山収穫がありましたね」と 言ったら「よく分かったね」てな話をしてい るうちに、収穫した大量のタラの芽を全部暮 れるということになり、一同大歓声。みんな で分けたけれど、一人当たり結構な量でした。 地元の方で、下山の際にまたいくらでも採れ るからということでした。昔横浜で仕事をし ていたことがあり、私たちが横浜から来たと 知って採りたてのタラの芽をくれたのかも。 朝の登山口にあった白い花は下山時には花 が開いていました。2山頑張れて幸せでした。 (和田悦子)